

ハイブリッド会場 発表者マニュアル

①現地発表の場合

【準備】

- ◆ 講演の 15 分前までに次発表者席に着席する。
- ◆ 講演者自身が Zoom に入室する必要はありません。

【講演中】

- ◆ 発表時間は一般・学生講演は 15 分です（1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 14 分）。特別講演（各シンポジウム企画）は 1 件 30 分、または 45 分（質疑応答含む）です。
- ◆ 前の講演が終了したら、接続用の HDMI ケーブルを自身の持込み PC と接続し、映像が会場のスクリーンに映し出されているかを確認する。
- ◆ 座長の指示に従い講演を開始する。発表は会場のマイクを使って行う（Zoom マイクはオフ）。
- ◆ 発表にはレーザーポインタを使用せず、Power Point のポインタ機能を用いて行う。
- ◆ 画面共有したままで質疑応答をする。

②オンライン発表の場合

【準備】

- ◆ 自身の発表開始 15 分前までに大会 HP のプログラムページから自身の発表会場の Zoom 会議室に入室する。
- ◆ 待機中はマイク・カメラをオフ。自身の Zoom 表示名を「講演番号氏名@所属」に変更。

補足: Zoom アプリケーションのインストールが出来ない場合は、ブラウザ上での参加も可能。（できる限りアプリケーションを通じて発表をするようにしてください）。

【講演中】

- ◆ 発表時間は一般・学生講演は 1 件 15 分（1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 14 分）。Zoom 上には残り時間の表示はされない。会場のベルが聞き取りづらい状況も想定し、時間の管理は自身でも行うことを推奨する。
- ◆ 画面共有、マイクに問題が無いことを発表冒頭に確認してから講演を開始する。
- ◆ 発表終了後の質疑応答は画面共有を解除せずに行う。

【講演終了】

- ◆ カメラ・マイクをオフにし、Zoom 表示名を変更する(氏名@所属)。

【ZOOM が落ちてしまった場合の対応】

◆ **発表者の Zoom 接続が切れた場合**

- (1) 講演時間内に再入室できたらそのまま講演を再開する。
- (2) 講演終了時間まで入室できない場合は次講演に移るので再接続後にチャットで会場係から再講演についての指示を仰ぐ。

◆ **会場全体が何らかの原因で落ちた場合**

- (1) Zoom への再入室を試み、再接続後に座長の指示で講演を再開する。
- (2) 講演時間内に Zoom に再入室できない場合は、再接続後にチャットで会場係から再講演についての指示を仰ぐ。

現地会場 発表者 マニュアル

【準備】

- ◆ 講演の 15 分前までに次発表者席に着席する。

【講演中】

- ◆ 発表時間は一般・学生講演は 15 分（1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 14 分）。特別講演（各シンポジウム企画）は 1 件 30 分、または 45 分（質疑応答含む）です。
- ◆ 前の講演が終了したら、HDMI ケーブルを自身の持込み PC と接続し座長の指示に従い、講演を開始する。
- ◆ ポインタ操作は Power Point のポインタ機能でもレーザーポインタでもいずれでもよい。
- ◆ 発表終了後の質疑応答は画面共有を解除せずに行う。